

本日、ここに、鹿島市議会平成30年12月定例会を招集し、諸案件につきましてご審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

### 【本年を振り返って】

本年も残り1月ほどとなりましたが、この1年を少し振り返ってみたいと思います。

本年は、様々な出来事や団体にとって節目の年となりました。

明治維新から150年の節目を迎え、佐賀県の肥前さが幕末維新博覧会をはじめ県内各市町で明治維新150年を記念した事業が展開されています。鹿島市もこの時期に活躍した鹿島の人物や鹿島との関わりについてスポットを当て、書籍の発行や顕彰イベントを開催し、好評を得たところでございます。

また、「浜町」は「八本木村」から地名が変更されてから100年を迎え、その玄関口として地域の皆様に親しまれてきた肥前浜駅が、昭和初期の木造駅舎の面影が残る魅力的な駅舎として3月にリニューアルオープンし、浜町100年を振り返る写真展や朝市、駅カフェなどのイベント会場として活用されております。今後も、浜町のシンボルとして、また地域コミュニティの拠点として、地域の活性化にますます寄与するものと確信しております。

他にも、鹿島市民図書館が開館して今年で100年を迎え、開館記念日の明日12月1日に、日本文学研究者のロバート・キャンベル氏を招き講演会が開催されます。さらに、鹿島青年会議所が創立60年、鹿島市文化連盟が創立50年をそれぞれ迎えられました。

鹿島が生んだ偉人の功績や思いに触れることで、ふるさとへの愛着や誇り

の醸成につながるよい機会となると同時に、先人たちが歩んできた道を振り返り、その思いや経験を今に活かし、未来へとつないでいこうというスタートの年となったのではないのでしょうか。

それから産業分野につきまして申し上げますと、まず製造業では、昨年谷田工場団地へ進出された川島金属株式会社の工場が完成し、7月から稼動しております。また、今月には、東亜工機株式会社が発電用エンジン部品の需要増に応じるため横田工場の生産体制を拡張する協定を市と締結いたしました。

市の産業振興や地域経済の活性化とともに、「ものづくりのまち」鹿島としての知名度がさらに向上するものと期待しております。

そして水産業では、6月に鹿島市沖の有明海で、22年ぶりとなるアゲマキ漁が再開しました。今年は試験操業の形で漁が行われましたが、獲れたアゲマキ貝は、道の駅鹿島でも販売され、整理券が必要なほど購入希望者が多く、販売のたびに午前中で売り切れる盛況ぶりであったと聞いております。

漁再開までに導いた県有明水産振興センターの約20年にわたる取組が評価され、今月、47都道府県の水産試験研究機関のトップで組織する全国水産試験場長会で、最高賞の「会長賞」を受賞されました。宝の海有明海の再生を願う漁業関係者の皆様や市にとりましても大変喜ばしいことございました。

一方で、今年も、豪雨や地震、台風が猛威を振るい、全国各地で災害が発生した1年となりました。なかでも「平成30年7月豪雨」は、鹿島市にも記録的な大雨をもたらし、市民の皆様へ初めて避難指示を発令するに至りました。幸い、大きな被害等はございませんでしたが、避難対応や体制などいくつか課題が見つかりました。これらの課題解消を含めて、災害時の「事業

継続計画（BCP）」や「受援計画」の策定を進めております。

さらに、9月には大規模災害に備えて、災害用マンホールトイレ5基を導入しました。災害用マンホールトイレは、地震などで上下水道施設が被災して、トイレが使えなくなった場合に避難所に設置するもので、くみ取り式の仮設トイレよりも衛生的なうえに、簡単に設置することができます。熊本地震でも効果を発揮しており、国土交通省も普及を促進しております。また、市職員が被災し、マンホールトイレの迅速な設置ができない場合に備え、市内の一般廃棄物処理業者の3社に設置や管理のご協力をいただくように、協定を締結したところでございます。マンホールトイレに必要な消耗品なども寄贈していただき、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。本年度は、鹿島小学校の敷地内にマンホールトイレを設置するための設備を整備いたしました。今後も避難所ごとに整備を進めていきたいと考えております。

市民の生命と財産を守ることは行政の責務であり、災害に強いまちを目指して引き続き取り組んでまいります。

そのような中で、7月に開催されました佐賀県消防操法大会において、鹿島市消防団の代表として出場した古枝分団が、市消防団としては9年ぶりに優勝の栄冠に輝かれました。さらには、10月に佐賀県代表として出場した全国消防操法大会では、佐賀県勢として実に32年ぶりに優良賞に入賞されました。この快挙は、半年にも及ぶ厳しい訓練に励んでこられた選手の皆様の努力もさることながら、家族、職場、地域の皆様のご理解とご協力によるものであると思っております。また、市民の安全・安心を支えている消防団の活躍を大変心強く感じたところでございます。

そして今年は、異常に暑い夏でございました。この猛暑により、鹿島市でも熱中症の疑いで1人がお亡くなりになられており、また、子どもの球技大

会の中止やいちご、アスパラガスなどの農作物の生育不良など、各方面に影響が出ました。気象庁からは、命に危険を及ぼす災害級の猛暑として注意が促され、市におきましても防災無線を活用し、外での運動や作業を控え、こまめな水分補給をしていただくよう熱中症対策を呼びかけたところでございます。特に子どもたちは、体温調節の機能が十分ではなく熱中症になりやすく、多くの時間を学校で過ごしますので、小学校の普通教室へのエアコン設置を、当初計画より前倒しして実施するように進めているところでございます。これによりまして、市内小中学校全ての普通教室については、来年の夏までにはエアコン設置を完了する予定でございます。

本年度は、鹿島市のまちづくりの基本的な方向性を示した「第六次総合計画」の中間の年であり、目指す都市像「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」に向けて施策の展開を本格化・加速化しております。先人たちの功績を振り返る機会となった本年を契機に、受け継がれてきた文化や伝統、産業など鹿島ならではの地域資源をさらに磨き上げ、これらの地域の宝を活かしたまちづくりを次なるステージへと進めてまいりたいと考えております。

### 【肥前鹿島干潟リレーマラソン大会について】

それでは次に、最近の情勢について申し上げます。

まず、肥前鹿島干潟リレーマラソン大会について申し上げます。

ラムサール条約登録湿地「肥前鹿島干潟」の登録3周年を記念し、新籠海岸に整備しましたウォーキング・ジョギングコースのお披露目を兼ねて、今月11日にリレーマラソン大会を開催いたしました。

当日は、秋晴れのもと、市内外から61チーム319人の皆様に参加していただき、参加者の皆様は、有明海を望みながら思い思いのペースで走り

楽しんでいただけたと思います。また、地域の皆様やボランティアスタッフの皆様には、地元農産品を使った豚汁のふるまいや選手への声援など、おもてなしの心で大会を支え、盛り上げていただきました。

おかげさまで、参加者からは、「コースの景色がすばらしかった」、「コースが平坦で走りやすかった」、「豚汁のふるまいや声援など会場の雰囲気がよかった」などの感想を寄せていただいたところです。

今回整備いたしましたコースは、自然環境に触れながらゆっくり走ることができるのはもちろん、スポーツ合宿に来ていただいている大学の駅伝チームが利用されているコースでもあり、距離を表示したことで、練習コースとしてもより使いやすくなっております。

新籠海岸のウォーキング・ジョギングコースを利用いただくことで、多くの皆様に肥前鹿島干潟の魅力に触れていただき、自然環境の保全と活用へとつなげてまいりたいと考えております。

### **【鹿島市干潟交流館の愛称について】**

次に、鹿島市干潟交流館について申し上げます。

平成31年4月にオープンを予定しています「鹿島市干潟交流館」は、有明海特有の生態系や干潟と触れ合う場として多くの方々に親しまれ、広く利用される施設になることを目指しております。施設オープンに先立ちまして、誰からも愛され親しみのある施設となるよう、皆様から愛称を募集することいたしました。

10月までの募集の結果、市内小学生をはじめ、遠くは札幌市から29都道府県延べ136名の応募があり、作品総数は178件と、非常に多くの関心を寄せていただきました。

今後は、覚えやすく親しみやすいもの、有明海特有の自然、生き物を活かしたものなどを選考の基準とし、12月中に最終選考を行い、来年1月に発表させていただくスケジュールとなっております。

### 【囲碁サミット2018 in 鹿島と天元戦について】

次に、囲碁サミット2018 in 鹿島と天元戦の開催について申し上げます。

去る11月22日、全国の囲碁関係者や囲碁を通じたまちおこしに取り組む自治体が集う「囲碁サミット2018 in 鹿島」を開催いたしました。11回目の開催となった本サミットは、「日本の未来 子どもたちの明日 囲碁とともに」をテーマに、遠くは北海道から過去最多の全国14市町が参加し、約300名の皆様にお集まりいただきました。

基調講演では、鹿島市でもふれあい囲碁の授業をしていただいたことのある故安田泰敏九段の「子どものいじめや自殺をなくしたい」との思いを継いだ取組についてお話しをしていただきました。

参加市町には、それぞれの取組について紹介していただき、その後のパネルディスカッションでは、囲碁を通じた子どもたちの育成や課題、可能性などについて、客席の参加者やプロ棋士も一緒になって活発な議論がなされました。

今回は、全体を青少年の育成に特化し、自治体の事例紹介もポイントを絞るなど、今までとは違う鹿島市独自のサミットが開催できたと考えております。これについては、参加いただいた方から非常に内容が充実していて意義のあるサミットだったと評価をいただきました。

また今回は、市内菓子店による囲碁をイメージしたサミット限定スイーツ

や鹿島実業高等学校の生徒による商品も会場で販売していただき、大変盛況で完売したところでございます。

サミット終了後には天元戦の前夜祭を兼ねた交流会を開催し、井山天元や山下九段をはじめ、日本棋院関係者やサミット参加者など約160名が参加し、囲碁に関しての交流が深まる良い機会となりました。

翌23日には、祐徳稲荷神社において天元戦第3局の対局が行なわれましたが、これに併せてプロ棋士による指導碁や囲碁教室を開催し、さらに24日には、碁聖寛蓮鹿島囲碁大会が開催されております。

この3日間で、囲碁のまちとしての鹿島を全国に発信できたと考えております。また、今回の囲碁サミットにつきましては、市内の関係者の皆様に準備段階からご協力いただき、一緒につくり上げてまいりました。素晴らしいサミットが開催できましたことを感謝申し上げます。

今後も、青少年の囲碁教室や小学校でのふれあい囲碁などを通じて、囲碁文化の普及、継承と囲碁を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えております。

### **【新市民会館（仮称）建設について】**

最後に、新市民会館について申し上げます。

新市民会館の建設につきましては、8月から設計者を選考するための公募型プロポーザルを開始し、第一次選考及び第二次選考を経まして、10月25日に選考委員会から審査結果の報告がございました。

既にご承知のことと存じますが、日本建築学会の現在の会長が代表者である「有限会社 ナスカ一級建築士事務所」が最優秀者に選考され、設計に係る業務委託契約を締結いたしており、来年11月を目途に設計が完了

する計画となっております。

この建設は、鹿島市のシンボルとなる50年ぶりの事業でありますので、市民の期待に沿えるような市民会館の完成に向けて、設計者、利用団体をはじめとする市民の皆様、議会の皆様と協議をさらに進めてまいります。新しい市民会館が、市民共有の優れた財産としてふさわしい建物となり、市民の皆様の文化・芸術などの新しい活動拠点となるよう取り組んでまいります。

### 【議案について】

それでは、提案いたしました案件につきまして、その概要を説明いたします。議案は、報告1件、条例改正2件、補正予算5件その他辺地総合整備計画など、計13件でございます。

はじめに、**報告第7号** 専決処分事項の報告について申し上げます。

これは、市長の専決処分事項の指定に関する条例の規定により、損害賠償の額の決定について専決処分したもので、地方自治法第180条第2項の規定により報告いたすものでございます。

続きまして、条例改正に関する議案2件について申し上げます。

まず、**議案第47号** 鹿島市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

これは、鹿島市谷田工場団地の分譲完了に伴い、当該工場団地の区域内において用地取得造成分譲事業を実施する見込みがないため、鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計を廃止するものでございます。

次に、**議案第48号** 鹿島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

これは、遊休農地の増加や農地面積の減少など、農業を取り巻く環境の変化に伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を変更するものでございます。

続きまして、補正予算に関する議案5件について申し上げます。

まず、**議案第49号** 平成30年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について申し上げます。

今回の補正は、事業確定に伴う経費の増減などについて計上いたしており、予算の総額に5億1,835万5千円を追加し、補正後の総額を154億4,632万9千円といたすものでございます。

歳入につきましては、普通交付税及び地方特例交付金の確定により増額計上いたしております。また、各種事業の決定、追加に伴う国県支出金、負担金などを増額計上いたしております。

歳出のうち主なものとしましては、民生費では、障害者施設給付費や保育所運営事業費、生活保護費などを増額計上いたしております。

農林水産業費では、耕作放棄地対策事業や林地崩壊防止事業などを計上いたしております。

教育費では、国の第一次補正予算において、今年の猛暑による児童生徒等の熱中症対策としての空調設置対策を予算措置する方針を受けまして、後年度に予定しておりました学校の空調設備実施設計を前倒しで実施するための経費を計上いたしております。

さらに、エスティ工業株式会社様、東亜工機株式会社様からご寄附をいただいております。また、図書購入の指定寄附もいただいておりますので、それぞれ、ご寄附の趣旨に従い有効に活用させていただくこととしております。

次に、**議案第50号** 平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正

予算（第3号）について申し上げます。

今回の補正の主なものとしましては、人件費のほかに消費税及び地方消費税が還付となりましたので、歳入において、雑入の消費税及び地方消費税還付金を増額し、歳出の公共下水道建設費において、落札減などによる事業の不用額の組み替えを行うものでございます。

次に、**議案第51号** 平成30年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、主に、歳入において県支出金及び一般会計繰入金を増額し、歳出において総務費の人件費を増額するものでございます。

次に、**議案第52号** 平成30年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、歳出のうち職員の人件費を増額し、これに伴い、歳入で一般会計繰入金を増額いたすものでございます。

補正予算に関する議案の最後に、**議案第53号** 平成30年度鹿島市給与管理特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、主には職員手当や共済費の増額などについて計上いたすものでございます。

最後に、その他の議案5件について申し上げます。

まず、**議案第54号** 辺地に係る公共的施設の総合整備計画についてでございますが、広平・中川内辺地に係る公共的施設の一体的な整備を促進するため、地域を拡大し、新たに総合整備計画を定めるものでございます。

次に、**議案第55号** 鹿島市営土地改良事業（音成地区）の計画の変更について申し上げます。

市営土地改良事業としてほ場整備事業を行うに当たり、実施設計等の結果、

当初の計画に変更が生じたので、土地改良法第96条の3第1項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

続いて、議案第56号 及び 議案第57号 鹿島市生涯学習センター及び鹿島市民図書館の指定管理者の指定について申し上げます。

公の施設である両施設につきましては、いずれも現在、指定管理者による管理をお願いしておりますが、指定期間が平成31年3月31日までとなっております。平成31年4月1日からの管理について、地方自治法及び鹿島市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

最後に、議案第58号 中村住宅の指定管理者の指定について申し上げます。

現在整備を進めている中村住宅につきましては、昨年9月に、PFI事業として、設計から建設、維持管理、運営にわたる事業契約を民間事業者と締結しております。その維持管理・運営に係る部分に関して、入居開始予定日である平成31年3月1日から、地方自治法上の公の施設の指定管理者として管理をお願いするため、議会の議決を求めるものでございます。

以上、提案いたしました議案の概要につきまして説明いたしましたが、詳細につきましては、ご審議の際、担当部長又は課長が説明いたしますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。